

# 私たち一人ひとりにできること

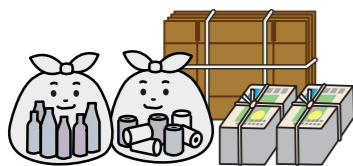
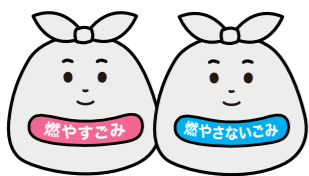
ごみの減量・資源化に向けて、家庭や職場でできることを実践しましょう！  
ごみを減らすことでカーボンニュートラルにもつながります！



## 家庭でできること

### 資源物の分別を徹底しましょう

ごみ分別アプリや分別ガイドブック等で、正しい排出方法について確認してください。



#### ごみ分別アプリ

ダウンロードはこちらから



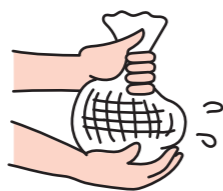
iPhone



Android

### 生ごみの水切りを行きましょう

ごみの減量だけでなく、臭いの対策にもなります。



### 食べきれない量を考慮して無駄をなくしましょう

買い物や食事を計画的に行うことが大切です。



### マイバッグやマイボトルを持参しましょう

レジ袋やペットボトルの使用を抑えることで、プラスチックごみの削減につながります。



### リユースショップ等を活用しましょう

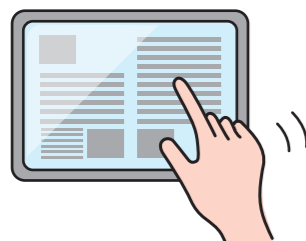
ごみとして捨てる前に、再利用できないか考えてみてください。



## 職場でできること

### 事務所の場合

- ペーパーレス化や裏紙の使用により、紙資源を節約しましょう。
- 事務用品は詰め替え式のものを使用しましょう。



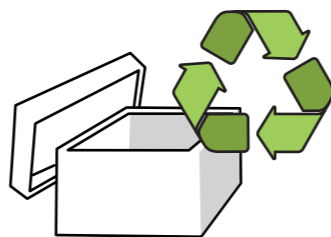
### 小売業の場合

- 過剰包装を抑え、簡易包装を行きましょう。
- 消費者が必要な量や包装を選べる量り売り等によって無駄をなくしましょう。



### 飲食業の場合

- 食品の廃棄が出ないように工夫しましょう。
- 仕入れに使用する発泡スチロールやダンボールを再利用しましょう。



## 市川市一般廃棄物(ごみ)処理

# 基本計画

いちかわ  
じゅんかんプラン21

概要版

令和5年4月策定

お問合せ

市川市 環境部 総合環境課

〒272-0023 市川市南八幡2-20-2 TEL:047-712-6305 FAX:047-712-6320



# 01 計画策定の趣旨



本市は、平成14年3月に市川市一般廃棄物処理基本計画(いちかわじゅんかんプラン21)を策定し、適宜改定を行いながら、ごみの減量・資源化に向け、様々な取り組みを進めてきました。令和4年2月には、「カーボンニュートラルシティ」を表明し、令和32年(2050年)までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。また、稼働後約30年が経過する現在のクリーンセンターの建替えを見据えて、施策の実施状況や廃棄物行政を取り巻く社会経済情勢の変化等を踏まえた、新たな計画として策定しました。

# 02 計画の基本的事項

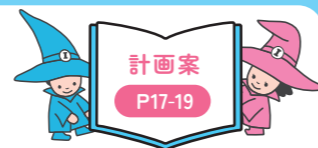


**計画期間** 令和5年度～令和12年度(8年間)

**目指すべき将来像** 資源循環型都市いちかわ

- 基本方針**
- (1) ライフスタイルの変革によるごみの発生・排出抑制
  - (2) 分別の徹底によるごみ焼却量の削減と高度な資源化の推進
  - (3) 環境負荷の少ない効率的で安定したごみ処理体制の構築
  - (4) 市民・事業者・行政の適切な役割分担と協働による推進

# 03 ごみ処理の課題



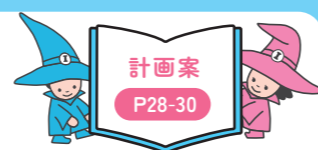
## ごみ処理体制等から見た課題

- ごみの最終処分の他市依存
- クリーンセンターの老朽化
- ごみ処理に伴う環境負荷の低減とごみ処理総費用の抑制
- 災害時におけるごみ処理体制の強化

## ごみの排出状況等から見た課題

- 分別排出の徹底
- ルール違反ごみへの対応
- 市民への情報周知

# 04 重点的に取り組む事項



## さらなるごみ減量・資源化に向けた事項

- 分別の徹底に向けた広報・啓発の強化
- 食品ロスの削減
- プラスチックごみの削減
- リユースの促進
- 経済的手法の活用
- 事業系ごみの減量・資源化対策
- 新たな資源化品目の検討

## その他重点的に取り組む事項

- 高齢者等世帯ごみ出し支援
- エネルギーの地産地消
- 不適正排出・不法投棄対策の強化
- 効率的な収集体制の推進
- クリーンセンターの建替え
- 災害時におけるごみ処理体制の強化

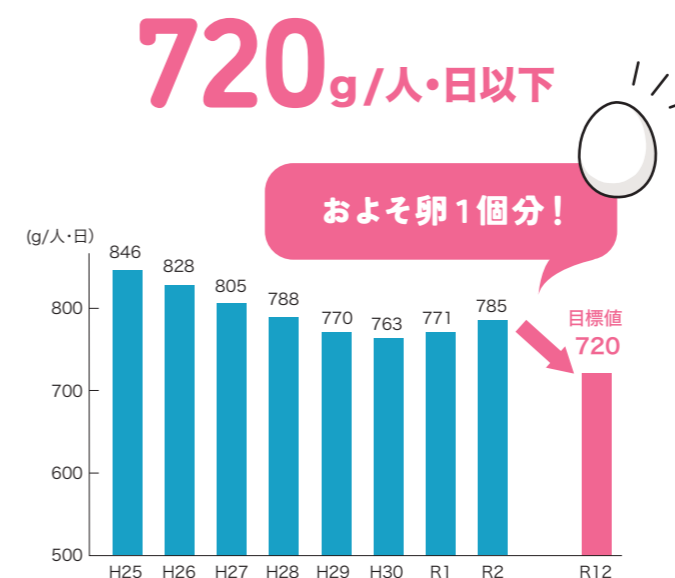


# 05 数値目標

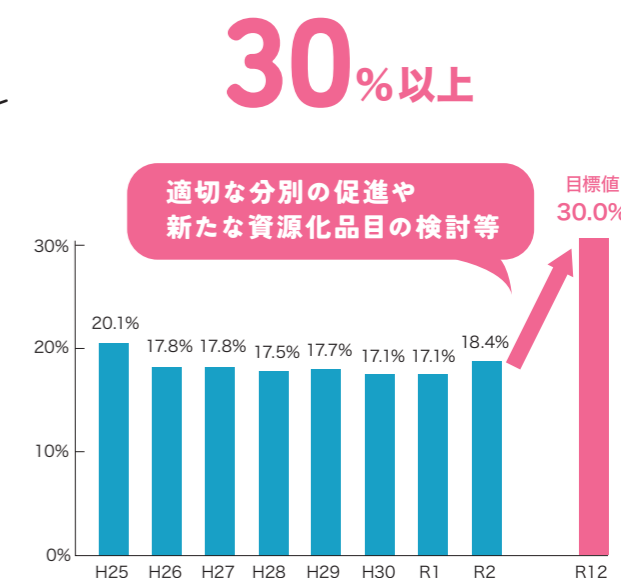


指標 / 令和12年度の目標値

## ① 1人1日あたり排出量 (排出原単位)

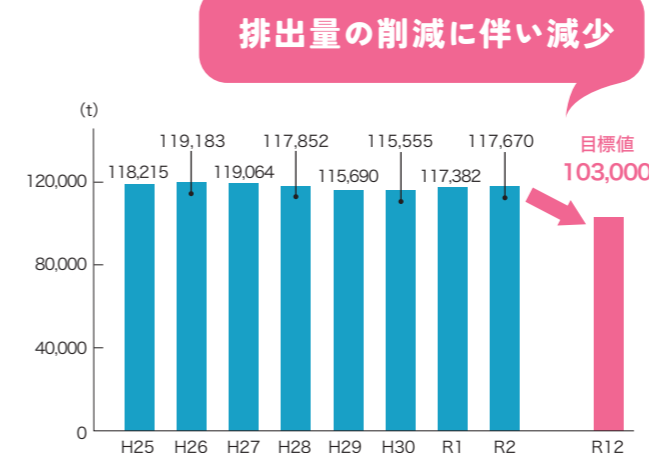


## ② 資源化率



## ③ 焼却処理量

**103,000トン以下**



## ④ 最終処分量

**3,700トン以下**

